

目標達成計画

作成日: 平成 23年 3月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	職員の外部研修への参加がなかなか出来ない。特に身体拘束、虐待防止、ターミナルケアについては随時受講していきたい。	全職員による課題講習の受講を図っていきたい。	外部研修機関の年間研修スケジュールなどを把握しながら適時に研修受講を行っていく。	12ヶ月
2	10	利用者個々の生活状況や近況報告などは各家族へ直接報告することとなっているが、そこでの個々の意見や要望について他の利用者家族に報告する機会がない。	利用者や職員、各家族などの意見、要望、報告などを共有できる機会を作っていく。	グループホームまこと主催で月刊誌を発行してその中で家族会からの意見、要望、職員からの意見、ホームからの報告、写真の公開などホームと家族の共有情報として発行していく。	3ヶ月
3	34	医療的な応急処置等に関してはマニュアルの設置はあるが実際の処置についての研修などの受講を行っていないために実際に応急処置などの対応が出来るかが不安。	全職員による救急救命士などの受講を図り、その後に定期的な研修が受けられるようにしていく。	救急救命士受講を推進していく。	12ヶ月
4	53	施設自体が狭く共用部分が少ないので、個別ケアなどが必要な時に苦勞する。	居室などを利用してくつろげる場所を開拓していく。	利用者の居室を利用して、職員と一緒にお茶を飲んだり、気の合う利用者さんを部屋に呼んでお喋りするなどを実施してくつろげる場所を開拓していく。	3ヶ月
4					ヶ月

5				ヶ月
---	--	--	--	----

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。